

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1 【ピアノの音が】</p>	<p>マンションで起きたピアノによる「騒音トラブル」。「隣の人のピアノがうるさい。もう我慢できない。静かに生活する権利があるから裁判を起こす。」という苦情に、管理組合理事長の岡さんは心配する。しかし、話し合いによってあっけなく解決する。苦情の主と、ピアノが趣味の隣人、両者が直接話し合うことで、どんなことに気づき、どんな気持ちが生まれたのかを手がかりにして考えさせる。権利と義務について考え、自他の権利を大切にするとともに、自らの義務を果たそうとする態度を育てるために身近で分かりやすい教材である。</p> <p>成果 「最初はマナーやモラルを重んじることだけが大切だと思ったが、相手の話を聞いたり、自分の権利を話したりしてお互いに納得のいくようにできることが分かった。」や「相手の権利を尊重しながら、自分も楽しく平和に暮らしたい。」といった意見がたくさんあった。また、「相手にも事情があったのかもしれないから、よく話を聞いた方がよい。」や「相手の立場に立って考えることが大切だと思う。」といった、多面的な考えも共有することができた。日頃から、お互いに思いやりをもって生活できている学級なので、スムーズに考えを深めることができた。</p> <p>課題 権利と義務については、社会科の学習でも扱われているが、すべての人の権利が守られていることや義務は果たさなければならないという意識はあまり高くない。折に触れて継続して指導をしていきたい。また、「自分がされて嫌なことはしない」ではなく、「自分は嫌ではなくても相手は嫌かもしれない」という、相手の気持ちを考えることの大切さについても繰り返し指導していきたい。</p>
<p>2 実践2 【縦割り班による児童集会】</p>	<p>異学年交流で全校児童を縦割りで6つの班に分けて、班ごとに自由遊びや班対抗で集会などを行っている。自由遊びでは6年生が中心となって低学年のサポートをしながら、鬼ごっこやドッジボールなど自分たちで決めた遊びを楽しむ。また、児童集会では、計画委員会の児童が中心となり、じゃんけんゲームや玉入れなどを班対抗で行う活動である。</p> <p>成果 異学年との交流で、高学年は低学年のサポートをしたり、低学年でも話し合いで意見を発表したりすることができ、学年を越えてたくさんの友達と交流できる。また、6年生は、自分たちも楽しみながら1年生のお世話をするため、最高学年としての意識もみられるようになった。</p> <p>課題 縦割り班活動は、月に1回程度キッズタイムとして設定されているが、学校行事や天候の関係などで延期や中止になってしまうことがある。児童は楽しみにしているが時間を確保することが難しい現状である。</p>